

諏訪圏移住交流推進事業

取組に至る背景・事業の目的

この取組は、平成 24 年 9 月、(一社)長野県宅地建物取引業協会諏訪支部と諏訪圏 6 市町村(岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村)が、東京で行われた全国規模の移住イベント「ふるさと回帰フェア」に合同出展したことをきっかけに始まった。

翌平成 25 年度には、県諏訪地方事務所が加わった連絡会議を立ち上げ、県内初の圏域移住パンフレットを独自予算により作成。さらに、諏訪圏として官民連携の移住交流推進事業に取り組むため、商工会・商工会議所、建設業協会、移住経験者等が加わった当団体を設立した。

平成 26 年度は、諏訪圏への移住をさらに推進するため、元気づくり支援金事業により、Web を活用した情報発信、生活情報や移住経験者の記事を盛りこんだ移住ガイドブックの作成、当団体主催のセミナーの開催等を行うこととなった。

事業内容

●情報発信

- ・一つの生活圈である諏訪圏 6 市町村の情報を紹介する移住ガイドブックの制作配布
- ・移住者目線に立った、6 市町村の新着情報を掲載できるホームページの作成
- ・ふるさと回帰支援センターへの登録と DM 発送依頼、バナー広告掲載

●相談会・イベント事業

- ・1 月 21 日、ふるさと回帰支援センターにて 6 市町村の諏訪圏合同セミナーを開催
- ・1 月 27 日、銀座 NAGANO にて開催の県主催移住セミナーに、連絡会として参加



【銀座 NAGANO 諏訪圏合同移住セミナー】

事業効果

- 2 回のセミナーには合計 58 名の移住希望者が訪れ、諏訪圏の魅力を紹介することができた。作成したホームページには 1 日平均 500 件のアクセスがある。移住希望者からの問合せ、事務局を訪れる者が増加している。
- 移住希望者のニーズを把握することができた。諏訪圏にどのような市町村があるのかわからなかったり、圏域全体の情報を知りたいという相談が多数あったほか、移住経験者の生の声が聞きたい、子育て世代など若い移住希望者からは就職先の情報を知りたいという希望が多く寄せられた。また、移住にあたっては、最初は戸建てではなく、貸家や体験住宅を希望する方が多かった。
- 広域連携、官民連携事業としてメディアによる取り上げ、他地域より事業活動の視察・問い合わせが増え、活動の PR 及び他地域への普及啓発ができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

諏訪圏 6 市町村の行政が進める移住促進は、事情も手法も体制もすべて違う。また、民間と行政で出来ること、考え方は、それぞれ違っている。セミナーやガイドブック、チラシの内容を決める時には、会員からいろいろな意見が出され、その都度調整する必要に迫られた。

しかし、この連絡会での情報交換を通じて、会員が得意分野で助け合い、力や知恵を活かしながら、この圏域全体の移住促進を進めることには、地域にとって大きな意味があると考えている。

今後は自然・産業・人に恵まれたこの地域の特色をさらに PR し、オール諏訪各方面の協力を得ながら、他の地域に負けない企画を生み出していきたい。

【選定のポイント】

一市町村では取組に限界がある中、圏域の民間と行政が連携し一体となって様々な事に取り組むことで、移住促進が期待される。

団体名	諏訪圏移住交流推進事業連絡会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0266-57-0502 (宅建諏訪支部内)	事業費	2,043,178 円
ホームページ	http://www.suwa-life.jp/	支援金額	1,634,000 円
メールアドレス	info@suwa-life.jp		